

工房あかね ギャラリー〈あーとOFF〉+タカタイ連携・連続企画

2010・6/11 (金)~6/26 (土)

10:00-17:00/日曜休廊

# 夢の旅人たち vol.05

## 神宮和也 個展 「へたぴ」は個性だ

1986年、高崎市生まれ。  
2007年、神宮和也個展  
(高崎シティギャラリー)。  
高崎市在住。

「油絵を描きたい」と、神宮は工房へ来た。週1回訪れ毎週1枚のペースで描いている。作品は100枚を超えた。

彼はすごく不器用で、自分でもよく「へたぴだ」と言っている。彼の絵を見ていると、つくづく「へたは個性だ」と思う。うらやましいぐらい。彼の絵は、一見子どもの絵のように見えるが、どこかで学んだり、頭で考えるのではなく、感覚的ではあるが、高度な芸術的センスがある。ギリギリのところであ易な図案化から回避されている。それは、一つに彼がリアリストだからで、参考写真をよく見ている。見てはいるがそのまま描いていない。しかし、「どこを見ているんだ」と、突っ込みたくなるほど写真とはちがっている。天分である。それが彼の画風になっている。



〈ピンクのヒマワリ〉F10号キャンバス、油絵の具、土 (2009年作)

主催 | 工房あかね

協力 | 上毛新聞タカタイ編集室

印刷協力 | 富士ゼロックス群馬株式会社

「あかね」は、主に知的障害をもつ人たちの作品を発掘して、そのすばらしさを多くの方々に知っていただく活動をしています。彼らの作品は、とかく純粹だとか、素朴だとかという言葉で片づけられ、そのほとんどが日の目を見ないのです。そんな「夢の住人」たちの作品を施設の中から社会の表舞台へ解き放ち、新しい価値を見出し、「夢の旅人」として一步を踏み出すための作品展を企画しました。

NPO法人 工房あかね  
〒370-0066 高崎市山田町8  
聖オーガスチン教会内  
tel+fax 027-321-7020  
ryu2studioakane@ybb.ne.jp

工房  
studio  
a cA Ne  
あかね

ART  
OFF  
ギャラリー  
あーとおふ

「工房あかねは、障害者の芸術活動を支援しています。」

「工房あかねは、障害者の芸術活動を支援しています。」

